

-----4月13日-----

2015年

※ 今週のアウトLOOK (4/13~4/17)

先週は、全般的に円安の流れとなりました。

先々週の週末にありました、米国雇用統計の悪い結果があまり後遺症を残さず、早期に消化されてしまったようです。

また、新規雇用件数などの数値も改善されており、米国景気の先行き不安は、幾分解消された兆しがあります。

今週は、2万円台を一時突破した日経平均が週初からどのような展開を見せるかに、まず注目が集まりそうですが、日経平均、為替とも、早々に上値を追うような展開となる可能性は少ないように思います。

先週ドル円は、先々週の米国雇用統計の悪い結果を早い段階で消化し、週初からドル高トレンドを回復しました。

新規雇用件数の改善も手伝って、一時ドル円は120円台後半までドル高が進みましたが、週末には120円台前半まで戻して終了しています。

今週はリバウンド後の材料不足のため、方向感をつかみづらい展開となる可能性が、高いように思います。

ただ、ユーロドルが再び1.05付近のサポートライン突破を目指しているため、突破してしまった場合には、ドル円も上昇トレンド入りする可能性が出てくるように思います。

ドル円の予想レンジは119円から121.5円です。

先週ユーロは、再び下落トレンドとなっています。

ギリシャ問題はあまり深刻な状況は報道されないものの、実際は綱渡り状態なのかもしれません。

今週ユーロドルは1.05、ユーロ円は127円のサポートライン突破を目指してくるのように思います。突破されてしまった場合、次にサポートラインまでは距離があるため、下落速度が一気に加速する可能性が出てくるように思います。

ユーロ円の予想レンジは125円から131円です。

ポンド円は、176円ライン突破ギリギリの状態で、週末を迎えています。

今週早々にも、突破する可能性が高そうです。突破してしまった場合には、170円付近を目指す展開となりそうです。

ポンド円の予想レンジは170円から179円です。

今週は、クロス円の円高がどこまで進むかが焦点となりそうです。

それぞれ、サポートラインを突破してしまった場合には、下落速度が一気に加速する可能性もあるので、十分な注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。